

芸西村デジタル田園都市構想総合戦略



住んでよかった芸西村

～小さくても元気で輝くむら～

【第1版】

目 次

第1章 基本的な考え方	1
1. 総合戦略策定の目的	1
2. 次期総合戦略における新たな視点	2
3. 総合戦略の位置づけ	3
4. 総合戦略の期間	3
5. 芸西村の現状について	4
6. SWOT 分析からみる芸西村の地域特性	6
7. 人口の将来展望	7
第2章 施策の方向性	8
1. 重点課題	8
2. 基本目標	9
3. 施策体系	10
第3章 施策の基本的方向と主な事業	11
基本目標1. 地方に魅力ある仕事をつくる	11
基本目標2. 新しい人の流れをつくる	13
基本目標3. 結婚・出産・子育ての希望を叶える	15
基本目標4. 魅力的な地域をつくる	17

第1章 基本的な考え方

1. 総合戦略策定の目的

わが国は、世界に先駆けて人口減少・少子高齢化という課題に直面しています。2008 年をピークに人口は減少局面に入っており、65 歳以上の高齢者人口に占める割合は 29.1%と過去最高となっています（2023 年 10 月現在）。

「静かなる危機」と呼ばれる人口減少という課題に対し、これまで政府はまち・ひと・しごと創生本部を設置し、2060 年に 1 億人程度の人口を確保するなどの中長期的な展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」を閣議決定しています。

また、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を標榜し、これまでの第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、2023 年度を初年度 とする 5 か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を新たに策定し取組を進めることとしました。

地方公共団体においても、これまで「地方人口ビジョン」並びに「地方版総合戦略」が策定され、各地域の実情に即した具体的な取組が行われてきました。地方創生の意識や取組は確実に根付いてきているものの、依然として全国的な少子化や、過度な東京一極集中が継続している現状があります。

芸西村（以下「本村」という）においても、2020 年 3 月に「芸西村人口ビジョン（以下、「人口ビジョン」という）」並びに「第 2 期芸西村まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第 2 期総合戦略」という）」を策定し、2060 年に 2,866 人の人口規模を維持することを目指し、4 つの基本目標を設定して取組を進めてきました。第 2 期総合戦略が 2025 年 3 月に計画期間を終了することから、引き続き人口減少対策と地域経済の活性化、定住促進施策を効果的に推進することに加えて、それらの施策の前提として近年急速に普及するデジタル化を踏まえた「芸西村デジタル田園都市構想総合戦略（以下、「本総合戦略」という）」を策定します。

策定にあたっては、第 2 期総合戦略の評価・検証を行い、デジタル技術を大いに活用した「どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指して引き続き芸西村の有する地域の特長や強みを活かし、魅力を発信していくことにより、人口減少を克服した活力ある持続可能なまちづくりを進めていきます。

2. 次期総合戦略における新たな視点

本総合戦略においては、国の「デジタル田園都市国家構想基本方針」で示された新たな視点を踏まえ、具体的な施策を展開します。

〈1〉地方へのひと・資金の流れを強化する

積極的な移住・定住施策を打ちだして芸西村に人を呼び込むようにします。さらに多様な形で芸西村に関わる「関係人口」の創出・拡大に取り組み、ひとの流れを強化します。また、多様な主体による取組を支援する体制・環境の整備に努めるとともに、企業や個人、金融機関等による寄付・投資等を促し、芸西村への資金の流れを強化するよう努めます。

〈2〉新しい時代の流れを力にする

デジタルトランスフォーメーション（DX）、世界的に掲げられている持続可能な開発目標（SDGs）の理念、また、観光需要の高まり等、近年の社会情勢や将来的に予想される状況を踏まえ総合戦略を策定します。デジタルトランスフォーメーションにより生産性や利便性を飛躍的に高め業務効率化を図り、労働環境の改善や魅力化向上が期待されます。

〈3〉人材を育て活かす

地方創生を推進するために必要不可欠な人材の発掘や育成を行い、取組を強化します。また、既存の事業や取組による人材の育成だけでなく、新しい時代の流れを見据えた新たな視点からの人材の育成も行います。

〈4〉民間と協働する

芸西村で取り組む施策はもちろん、企業や住民等の民間が主体の取組にもより一層注力し、多様な主体が連携した地方創生を進めます。

〈5〉誰もが活躍できる地域社会をつくる

芸西村の強みでもある元気な高齢者をはじめ、障がい者、ひきこもり状態にある人、外国人、若者、女性など誰もが活躍できる活力ある地域づくりの実現を目指します。

〈6〉地域経営の視点で取り組む

芸西村の強みを最大限に生かし、村外からの消費を拡大し経済循環を発展させるために、住民や企業等が地域経営の視点で、生産性や経営力、質の向上に向けた取組の推進及び支援に努めます。

3. 総合戦略の位置づけ

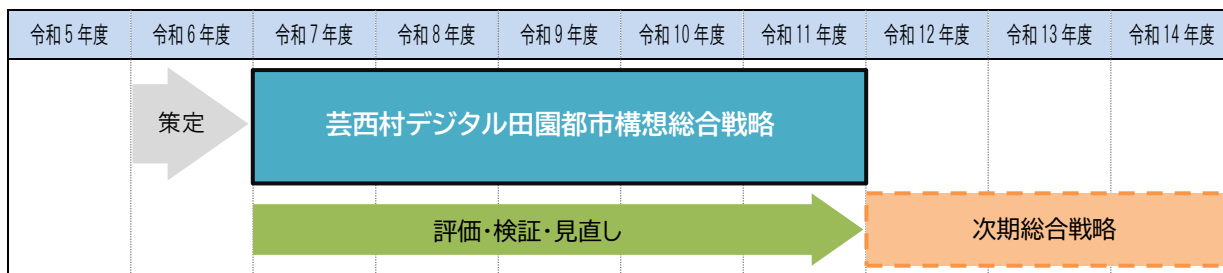
本総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」です。国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」及び県の「高知県元気な未来創造戦略」を勘案するとともに、本村の現状を踏まえたうえで、これからの目標、講ずべき施策に関する基本的方向などを示しています。

また、本総合戦略は、「芸西村総合振興計画」や関連する計画との調整・整合を図り策定するものとします。また、2015年に国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」に掲げられている17の分野別目標を踏まえ策定します。



4. 総合戦略の期間

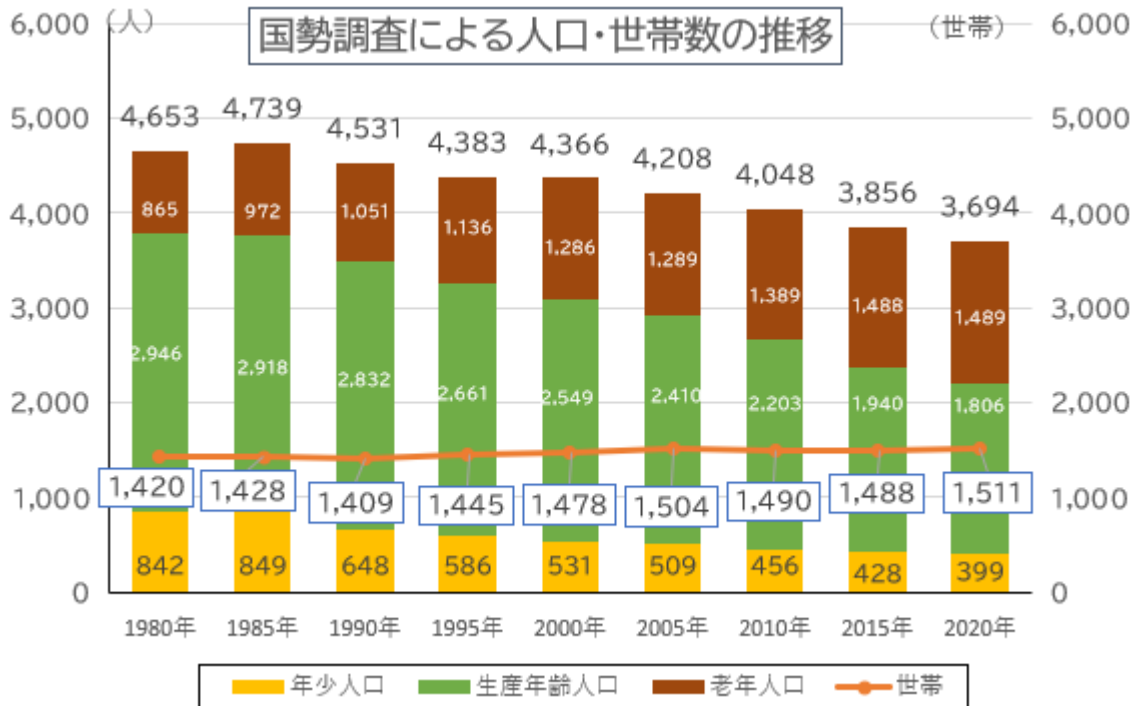
「総合戦略」の期間は、2025年度（令和7年度）から2029年度（令和11年度）までとします。しかし、社会経済情勢や住民ニーズへの確かつ柔軟な対応ができるよう、「総合戦略」で掲げた内容は適宜、評価・検証を実施したうえで見直しを実施します。



5. 芸西村の現状について

〈1〉人口動態

総人口は減少傾向にある中で、社人研推計では 2040 年には 3,000 人を下回ることが予想されています。2015 年から見た 2020 年時点の予測（3,644 人）と 2020 年の実績（3,694 人）では 50 人上回って予想よりも減少ペースが鈍化しているものの、将来的な減少は避けられない状況となっています。



資料：令和2年国勢調査、芸西村人口ビジョン

〈2〉人口流動

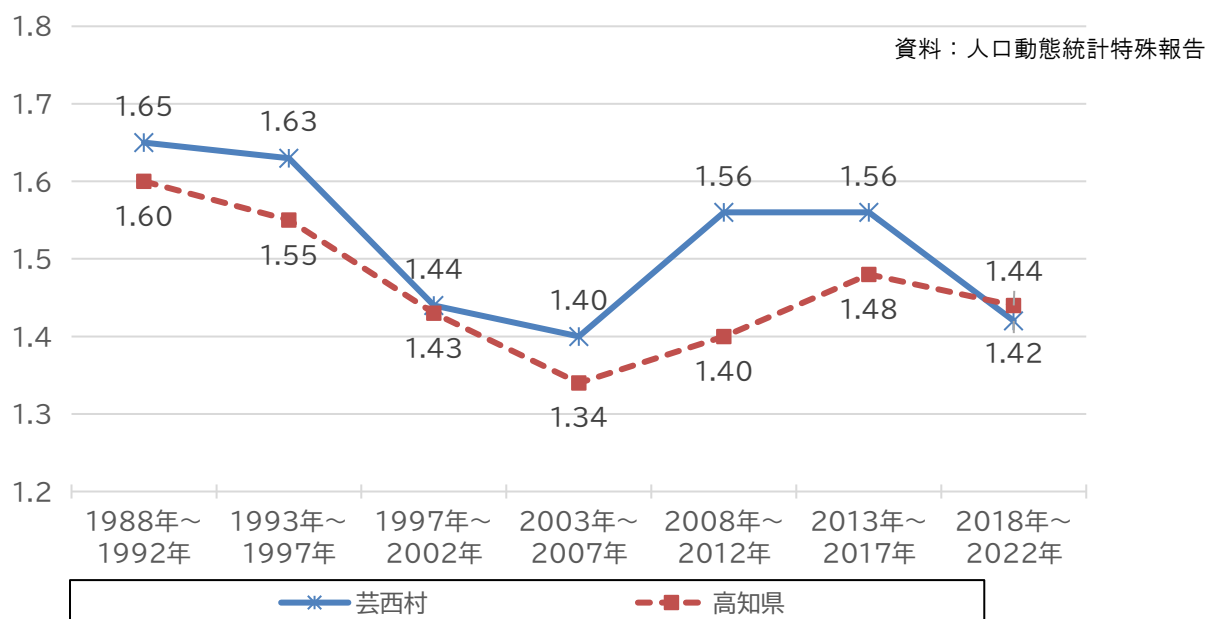
村内常在の就業者・通学者（15 歳以上）の従業・通学先をみると、高知市や南国市に通勤・通学する人が多くなっていますが、安芸市や香南市は通勤・通学してくる人が多くなっています。昼間比率は 99.9%となっています。

■ 通勤・通学による人口流動（令和2年国勢調査）



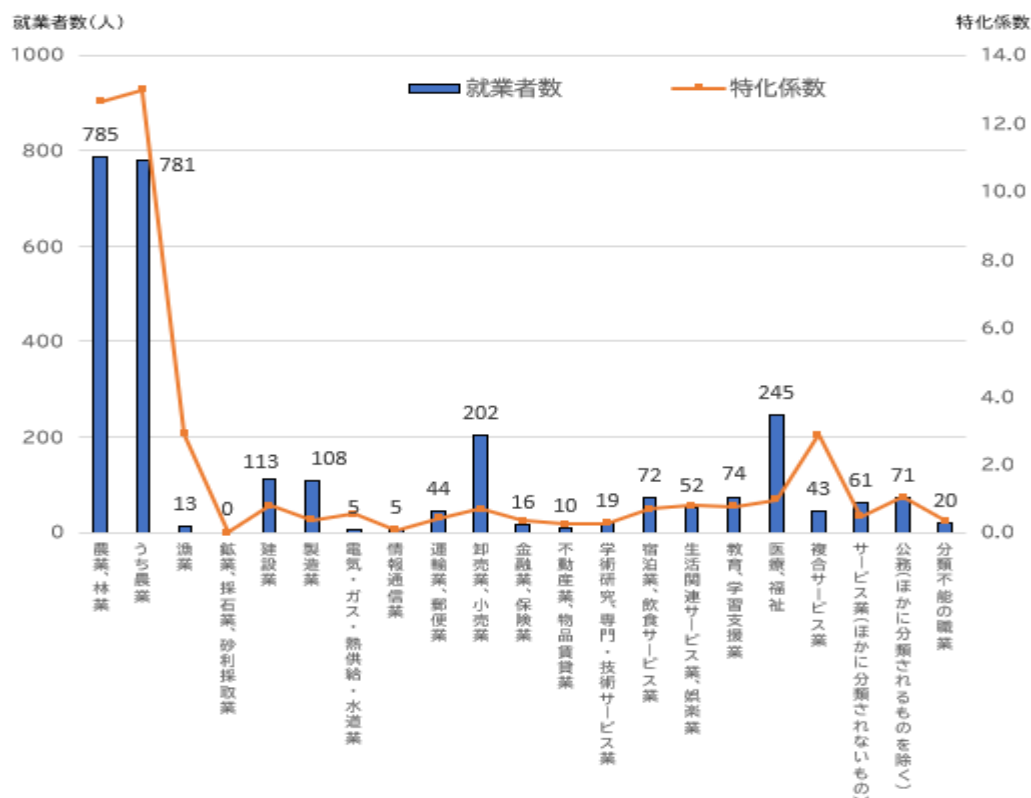
〈3〉合計特殊出生率

合計特殊出生率についてみると、2018年～2022年では1.42となっており、高知県の1.44を下回っています。



〈4〉産業別就業者数と特化係数

産業別就業者数と特化係数についてみると農業が就業者数も多く、特化係数も高くなっています。（特化係数……ある地域の産業が全国と比較してどれだけの割合を占めているか）



資料：令和2年国勢調査従業地・通学地集計

6. SWOT 分析からみる芸西村の地域特性

S 芸西村の強みは何か

- 稼げる農業を実践できている
- 国道 55 号や高知東部自動車道、ごめん・なはり線による交通アクセスがよい
- 人を呼ぶコンテンツが豊富（ゴルフ場や宿泊施設）
- 子育てに関する支援が充実している
- 竹灯りの宵などの人気イベントがある

O チャンス、好状況

- 都市部へのアクセスと自然とのバランスが良い
- 子育てがしやすい村と広く認識されている
- 観光に関して、県東部圏域の連携が進んでいる
- 防災への意識が高く、避難訓練も充実している

W 芸西村の弱みは何か

- 商業施設が少ない
- 県内外での知名度が低い
- 高校がない
- 観光資源があるが生かし切れておらず観光人材に乏しく村外への情報発信力が弱い
- 農業の魅力が子どもたちへ伝わっていない
- 求人は多いが職種が少ない

T 外的なマイナス要因

- 自治体間の人口獲得競争の激化
- 全国的な少子高齢化の進行
- 大都市圏への人口や産業の集中
- 地域コミュニティの希薄化

現状

- 保育料完全無償化や、医療費の無償化や保育の充実など子育てに関する支援はかなり充実している。
- 稼げる農業として確立できており、大規模ハウスなどが注目されている。
- 有名ゴルフ場を筆頭に観光コンテンツが充実している。
- 人気イベントの開催や、SNS などの村の情報発信ツールが充実しつつあり交流人口の増加が期待できる。

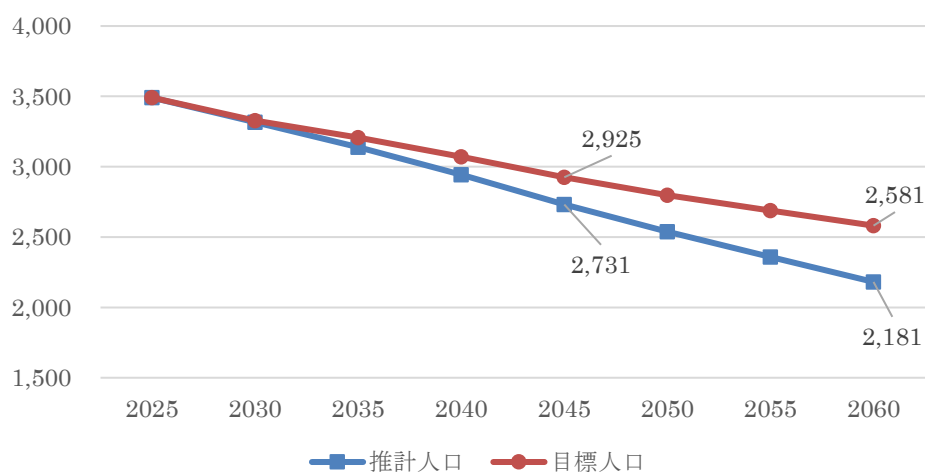
課題

- 子育て支援はかなり充実しているが、子どもの数は減少傾向にある。
- 観光資源と観光人材の発掘に関して、近隣に比べて対応が遅れている。
- 園芸王国土佐でも屈指の産地にもかかわらず県内外での知名度が低い。
- 進学を機に村外へ出た若者が芸西村へ戻ってこない。
- 琴ヶ浜やメランジュ帯など、それを求めて来る人がいるほどのコンテンツがあるのに活かしきれていない。
- 新規就農者は一定数確保できているが、まだ離農者が上回っている状態。
- 空き家の増加、遊休農地の増加も歯止めがかからない。

7. 人口の将来展望

「人口ビジョン」では、中長期的な展望として『2060年（令和42年）における目標人口を2,581人』と示し、結婚・出生数の増加や人口の流入をもたらす施策・事業をはじめ、「芸西村デジタル田園都市構想総合戦略」に資する施策・事業に注力することにより、人口減少に歯止めをかけ、さらには、年少人口比率と生産年齢人口比率の上昇した「若返る芸西村」を目指していくこととしています。

人口ビジョンによる芸西村の将来人口



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
推計人口	3,491	3,316	3,139	2,943	2,731	2,538	2,358	2,181
目標人口	3,491	3,327	3,208	3,071	2,925	2,797	2,689	2,581

第2章 施策の方向性

1. 重点課題

重点課題・1 親と子にやさしい安心安全の子育て

日本一の子育て支援の村を目指して、給食費の無償化、出産祝金の制度の導入などをはじめとした子育て支援策を強化・拡充する必要があります。幼児教育から中学生までの保育・教育施設を集約化し、デジタル技術を活用した新しい教育環境も整備します。

重点課題・2 健康長寿と生きがい創出

健康長寿と生きがいが生まれる村を目指して、高齢者の健康と介護を多面的にとらえたサークル・文化活動から介護支援まで生きがい健康づくり策を強化する必要があります。また生涯現役を目指し老後不安がゼロになるように取り組む必要があります。

重点課題・3 安定的に農業を営み自立できる振興策

園芸用ハウスの整備や新技術導入の支援やデジタル技術の利用など、生産力向上の必要があります。また、近年の後継者不足に対応し、10年後、20年後を見据えた新規就農者と後継者育成に注力していかなければなりません。

安全・安心の子育て

日本一の子育て

デジタルを使った子育て支援策の強化・充実、充実した教育環境の整備、共働き共育て支援

健康長寿と生きがい

生涯現役

高齢者の外出支援の推進、サークル・文化活動の推進、介護支援など

自立した農業経営

新規就農

デジタル技術を中心とした積極的な新技術導入支援やブランド力の強化、後継者育成など

2. 基本目標

本総合戦略においても、第2期総合戦略の目指すべき将来像、基本目標を踏襲し、次のように設定します。

住んでよし！芸西村 ～小さくても元気で輝くむら～

●目指す将来像

あらゆる世代が住みやすい村づくりによる人口維持

●基本目標

- 1 地方に魅力ある仕事をつくる
- 2 新しい人の流れをつくる
- 3 結婚・出産・子育ての希望を叶える
- 4 魅力的な地域をつくる

地方に魅力ある仕事をつくる

農業を基幹産業とする芸西村では、若い世代を中心にスマート農業などデジタル技術を活用し農業の雇用を維持・創出していくことが重要です。農業就業人口の維持、地産外商の強化に資する取組を推進します。

新しい人の流れをつくる

近年、芸西村では社会増が続いていますが、今後も若者の定住を主とした社会増を継続していくことが重要です。産業・観光の活性化を図り、交流人口を拡大させ、芸西村の魅力を広めるための取組を推進します。

結婚・出産・子育ての 希望を叶える

子育て支援に力を入れてきた芸西村ですが、依然として年少人口は減少し続けています。結婚、出産、子育て、仕事と育児の両立などの各段階に応じた対策を進め、安心して結婚・子育てできる環境づくりへの取組を推進します。

魅力的な地域をつくる

住み慣れた地域でだれもが安心して暮らし続けていけるよう、デジタル技術を活用した生活サービス機能の充実や村内各地域をつなぐ情報、交通ネットワークの整備などを通して、住み続けたい場所として選ばれる地域づくりへの取組を推進します。

3. 施策体系

基本目標		基本的方向	重要業績評価指標
1	地方に魅力ある仕事をつくる	農業就業人口の維持	◇新規就農者数
		地産外商の強化	◇企業誘致・起業数
2	新しい人の流れをつくる	人口の社会増への誘導	◇移住者（移住施策等による）
		交流人口の拡大	◇観光イベント入込数
3	結婚・出産・子育ての希望を叶える	独身者に対する結婚の働きかけ	◇婚姻数
		子育てしやすい環境づくり、教育の充実	◇子育てに関する新たな支援の取組件数
4	魅力的な地域をつくる	持続可能な安心・安全のまちづくり	◇芸西村地域づくり支援事業費補助件数
		生きがいのある生活を送り続けることができる環境づくり	◇デジタル技術を用いた住民サービスの向上

第3章 施策の基本的方向と主な事業

「芸西村人口ビジョン」に示された人口目標を実現するため、本総合戦略では次の4つを政策目標として設定します。

基本目標1. 地方に魅力ある仕事をつくる

数値目標

項 目	目 標
村内の事業所数	◇令和11年度 100事業所 （令和5年度：87事業所）

（出典：市町村税等課税状況等の調 検収調書）

※「重要業績評価指標」とは、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のことをいいます。

基本的方向と重要業績評価指標※

重要業績評価指標	◇企業誘致・起業数 10件（5年間累計） ◇新規就農者数 15人（5年間累計）※
----------	---

※（出典：新規就農者情報及び離農者情報の調査について（安芸農業振興センター提出））

◆ 農業就業人口の維持

- 活気ある村づくりのためには「農業立村」としての地位を維持することが重要です。
県内有数の施設園芸地である芸西村も、就農人口が年々減少傾向にあります。離農者に対し新規就農者が少なく、担い手不足が続いている状況です。
- 新規就農支援やデジタル技術を活用したスマート農業を浸透させていくことで、新規就農のハードルを下げ、省力化・効率化を図ることで農業に対するネガティブなイメージを解決し、若い世代にとっても魅力的な職業にしていきます。
- 就農人口を増やすためには、就農支援等により就農しやすい環境を整備するとともに、収量を増加させることはもちろん、出荷体制及び販売力強化により、家族が安心して生活できる農業所得を得られる体制づくりが必要です。
- 多様な担い手の確保・育成を図りながら遊休農地の活用や、生産性の向上を図ります。
- 自立した担い手を確保するために、村と各機関（JA等）が連携し、研修から経営までをサポートする体制を整えていきます。特に新規就農者はビニールハウス確保に窮しているため、研修から経営へとスムーズに移行できるよう施策を講じます。
- 研修等を行うことが可能な指導力のある担い手を育成するなど、地域と連携した人材育成を行います。

◆ 地産外商の強化

- 地場産品直販所「かっぱ市」は、地元で採れた野菜や鮮魚、花卉やオリジナル商品の販売で売り上げを伸ばしてきました。しかし、午前中で大半が売り切れることや、農閑期には販売する商品自体が少なくなるなど購入者のニーズに対応できていない状態が続いています。令和7年3月には高知龍馬空港ICと香南のいちICが開通し、高知JCTと芸西西ICが高規格道路でつながります。高知市内からの集客を期待できる一方、将来安芸市まで延伸した以降は利用者の減少が予想されるため、それまでの間に集客する施策が必要です。
- 「集落活動センター」と民間企業の協力連携により、購入者のニーズに合った商品の確保や販売方法の導入、新商品の開発、外商について検討していきます。
- 全国より寄せられるふるさと納税の返礼品に、地場産品を使った魅力的な商品開発を行うことで地産外商の強化を図ります。

【具体的事業】

事業のねらい	事業内容
農業担い手育成事業	・新規就農者育成総合対策事業（経営開始資金）を交付し、地域の中心経営体として営農の定着を図る。（交付件数）
指導者の増員	・研修や経営サポートが可能な指導農家を増やす。
地産外商の強化を図る	・マーケティングリサーチ及び特産品の販売促進、販路開拓を行う。（新規外商先件数）
起業・事業者支援・企業誘致事業	・クラウドファンディングを活用して起業・事業者支援・企業誘致を行う。（CF件数）



基本目標 2. 新しい人の流れをつくる

数値目標

項 目	目 標
交流人口の増加	◇村内観光施設への入込者数増加（5年間の累計150万人） （過去3年平均 26.2万人）

基本的方向と重要業績評価指標

重要業績評価指標	◇移住者（移住施策等による）（5年間で累計142人） ◇観光イベント入込数（5年間で累計85,000人）
----------	---

◆ 人口の社会増への誘導

- 高規格道路の延伸に伴い多くの企業の集まる市が通勤圏内にあることを活かし、ベッドタウンとしての役割を担う村づくりを目指していきます。
- 倒壊の危険や景観の悪化などの社会的な問題となっている空き家の対策にも取り組みます。空き家バンクの活用や空き家のリフォーム補助などの対策により移住者を呼び込んでそれらの問題の解決と社会増の実現を図ります。
- 人口の自然減を補うため、子育て世帯を中心とする転入促進に向けた住宅の確保、改修など各種事業を展開し、社会増の維持・拡大を図ります。
- 移住相談会や交流イベント、移住体験ツアーへの参加、受入施設を整備する等、移住者の受入体制の強化を図ります。

◆ 交流人口の拡大

- 地域の自然や農産物等を生かした観光資源の整備・充実、魅力度アップを図るとともに、PRを強化し、交流人口の拡大を図ります。
- ふるさと納税を地域や地域産業のPRツールのひとつとして活用し、掲載サイトを増やします。また、観光施設の利用券といった返礼品の開発により観光施設の入込数増加につなげていきます。
- 竹灯りの宵など集客を意識して常に既存のイベントの見直しを図ります。

事業のねらい	事業内容
移住促進事業	・移住相談会へ参加する（参加回数）

事業のねらい	事業内容
空き家バンク登録事業	・ 空き家バンク登録可能な物件の掘起しを行い、マッチングのための広報活動を行う。(空き家バンク新規登録数)
民間共同集合住宅の誘致	・ 民間業者のアパート建設等を誘致する。
若者定住事業	・ 34歳以下の若者に対し、村内に住宅を新築または中古住宅を取得した場合に奨励金を支給する。
奨学金返還支援事業	・ 芸西村在住または芸西村に移住してきた34歳以下の若者に対し、前年度中に支払った奨学金について支援する。



基本目標3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標

項 目	目 標
出生数	5年間累計 96人 （令和5年度 12人）

基本的方向と重要業績評価指標

重要業績評価指標	◇婚姻数 累計 70組 （R元～5年 39組） ◇子育てに関する新たな支援の取組件数（累計5件）
----------	---

◆ 独身者に対する結婚の働きかけ

- 20・30歳代男性の未婚率が高い状況を踏まえ、家族形成期にある男女のふれあう機会の拡充、結婚に対する意識づくりなどの取組を進めます。
- 共通の趣味や価値観を持つ独身者による交流事業を行い、出会い・婚姻のきっかけを提供します。

◆ 子育てしやすい環境づくり、教育の充実

- 働きながら子育てしやすい環境を整えるために、就学前児童の保育・教育事業をはじめ、出産・子育て支援に関する取組の一層の充実を図ります。
- 保育所待機児童数0人や、幼稚園延長保育、病児・病後児保育などの保育・子育て支援を継続して行います。
- 高校生までの医療費助成、チャイルドシート等購入補助、子どもインフルエンザの予防接種助成などの経済的負担の軽減を継続し、あらたに給食費の無料化、出産祝金制度を創設します。
- 子育て世代包括支援センターにより妊娠、出産、子育てに関する様々な相談に対応し、必要に応じて支援プランの策定や保健、医療、福祉の関係機関との連絡調整を行います。
- 子どもが社会等の変化に対応し、新たな時代を切り拓いていけるよう、外国語能力を育成する事業を進めます。「芸西村に住むと自然に英語が身につく」と言われるよう、幼いころから英語に親しむ環境を整えていきます。
- 学校に一人一台配備されるタブレットを使用し、いち早く児童生徒をデジタル社会に対応できるようにします。
- ALT2名体制や、幼稚園での週一回英語学習を継続します。
- 増加傾向である発達障害の児童生徒に配慮した対応が出来るよう、専門講師を招聘し

研修を実施します。

【具体的事業】

事業のねらい	事業内容
芸西村出会い結婚支援事業補助	・ 高知県の実施するマッチングシステムへの登録料の全額を補助する。(補助件数)
不妊治療に関する経済的負担の軽減を図る	・ 県の特定不妊治療の限度額を超過した費用と、保険適用となる一般不妊治療の自己負担額を助成する。(補助件数)
保幼統合施設整備・学校施設再編事業	・ 保育所、幼稚園の施設の老朽化に伴い、新たに認定こども園の整備を目指し保育・教育の連携・充実を図る。また、将来を担う子どもたちにとってより良い教育環境を整えるため、学校施設の再編成も行う。
英語力UP事業	・ ALTにより、幼少期（幼稚園）からの英語学習を行う。 ・ 小中学生を対象に英語学習に特化した夏休み特別授業を行う。 (夏休み特別事業の実施回数)
出産祝金事業	・ 芸西村に1年以上居住している場合、子どもの出生時に出産祝金を支給する。



基本目標 4. 魅力的な地域をつくる

数値目標

項 目	目 標
芸西村に住みたいと思う人の割合	◇令和11年度(90.0%)

村民アンケート調査の中で「住みたい」、「どちらかというと住みたい」の合算

基本的方向と重要業績評価指標

重要業績評価指標	◇デジタル技術を用いた住民サービスの向上 累計5件
----------	---------------------------

◆ 持続可能な安心・安全・便利なまちづくり

- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるよう、生活サービス機能の充実や村内各地域をつなぐ情報、交通ネットワークを利用しやすい環境づくりを進めます。
- 持続可能なまちづくりを目指し、地震や津波といった人命を脅かす自然災害に備え、住民の安全を確保するとともに、ごみの減少等、環境面にも配慮します。
- 「かっぱ市」に委託し、村内高齢者等に対し移動販売、注文販売と同時に見守りを行います。
- 自主防災組織が中心となり、自治体や消防と相互に協働し防災訓練を実施します。
- 住民票など役場窓口でないと取得できなかった証明書をコンビニでも交付できるようにするなど、デジタル技術を活用したサービスの提供に努めます。

◆ 生きがいのある生活を送り続けることができる環境づくり

- 村の人材バンクへの登録を推進し、定年退職後の時間を活用して職業等で培った能力や技術を学校・社会等へ還元できる体制を整えます。
- 住民が健康で生き生きと暮らすことができるよう、健康に関する事業を展開し、住民の健康づくりや介護予防に繋がります。

【具体的事業】

事業のねらい	事業内容
おでかけバスの利用促進	・高齢者の外出支援として、村内の各所を周るおでかけバスを運行し、交通弱者の利便性を向上させる。 ・公共交通機関との接続を考慮し、村外への移動をしやすいとする。(年間利用者数)
人材バンク制度	・人材バンク制度への登録促進を行う。(登録人数)

事業のねらい	事業内容
安心安全な住環境の整備を図る	・ 倒壊の恐れのある空き家等の解体撤去の方針を検討するとともに、有効活用が可能な空き家についても情報を集め必要に応じて改修を行う。(除却・改修件数)
村民の意識調査	・ 村民の意識、意向、満足度調査を行い、村民が必要とするものを的確に把握する。(令和11年度)



芸西村デジタル田園都市構想総合戦略【第1版】

初 版：令和7年3月

発行年月：令和7年3月（第1版）

発 行：芸西村役場 企画振興課

所 在 地：〒781-5792

高知県安芸郡芸西村和食甲1262番地

T E L：0887-33-2114

F A X：0887-33-4035
